

運動部だより

38号

明星中学高等学校
運動部会発行

平成28年12月19日(月)

中学女子 硬式テニス

多摩大会 優勝！！

12月18日、都立第五商業高校テニスコートで多摩新人大会決勝トーナメント最終日が行なわれ明星中学校が多摩地区200校の頂点に輝いた。準々決勝は関東大会出場校の小金井一中と対戦3-1で勝利。準決勝は全国大会常連の小平二中と対戦、ダブルスの荒木・青木ペア、佐野・池亀ペアが苦しみながらも2勝して王手、シングルの野口が勝利し3勝で決勝進出を決めた。決勝戦は成蹊中学、新人選手権大会では関東を勝ち上がり全国まで出場している強豪、ベストメンバーで明星の前に立ちふさがった。

試合前、猪狩監督は「ここまできたら、勝ちたいと言う気持ち強い方が勝つ。一人ひとりが何があっても優勝すると言う気持ちを持ちなさい」と選手達を奮い立たせた。

試合は4面展開、1つのシングルスを除いて同時に試合が開始された。ダブルスの荒木・青木ペアは惜敗。シングルの蝦名と野口が勝利で2勝。ダブルスの佐野・池亀ペア、5-1でリードするも5-4と追い付かれたが副部長の佐野がプレッシャーにも負けず堂々とした戦いぶり、最後は池亀が得意のサーブで試合を決めた。3勝1敗、多摩大会優勝を手にした。

多摩大会優勝は東京都優勝と言って良いほど多摩地区は実力校・強豪校がひしめく。その中で初の優勝は嬉しく、価値ある勝利、喜びを全員で噛み締めた。表彰式が終わると選手達は三年生に駆け寄り「優勝できたのは三年生のおかげです」と三年生の新井・平澤・ヒリアー、に深々と頭を下げお礼を言った。朝の練習でも、放課後の練習でも、今日の試合でも、アドバイスと励まし、選手にとっては心強い姉貴の魔法の言葉だった。「ありがとうございます」の言葉と共に熱い涙が頬をつたう。声を囁かし応援した三年生、頑張った選手達に拍手を贈る。多摩地区大会優勝おめでとう。猪狩監督、林コーチ、優勝おめでとうございます。

高校男子 バレー

私学大会

12月18日、農大一高体育館で私学大会が行われ、1回戦、法政大高と対戦、全は競り合うも地力勝る明星が中盤からリード、セットカウント2-0で勝利した。2回戦は東京都ベスト8の安田学園と対戦、終盤粘りを見せたが一步及ばず0-2で敗戦となった。上岡監督は「ミスの少ない良いバレーを体験し、選手達も良い経験になったと思う」と話された。

高校女子 バレー

私学大会

12月18日、中大杉並高校体育館で私学大会が行われ、1回戦、雙葉高校と対戦した。雙葉高校は1部校、明星は2部校、胸を借りるつもりでぶつかった。第1セット、明星の攻撃が面白いように決まり25-15で勝利をもぎ取る。これでいけると思ったが修学旅行明けでスパイクの決定率が悪く2セット目から相手に先行を許す形となってしまった。それでも粘り強く最後まで戦い抜いたがセットカウント1-2で敗戦となった。あと1歩で金星奪取ただけに悔しい敗戦となった。池竹・桑原・石原・三角・黒岩・ジェームス・佐藤が力を振り絞り頑張った。冬休み、みんなで体力増強、パワーアップで次の大会へのぞむ。

ハンドボール部 ジコモ

ありがとう (ザンビア、ニャンジャ語)

ザンビア共和国ナショナルチームと親善試合

12月18日、明星中学校・高等学校体育館メインアリーナでザンビア共和国ナショナルチームと親善試合を行なった。2020年、東京オリンピックを見据えてのチーム、17～18歳の選手が主体である。今回、この親善試合を行なうにあたり尽力されたのが明星高等学校ハンドボール部OBの田代征児先輩だ。田代先輩は外務省勤務、ザンビア共和国に4年間赴任されている間、同国のナショナルチームのコーチとしても活動された。東京オリンピック出場を目指すザンビア・ハンドボールチームを強烈にバックアップ、サポートする。

顧問の小川先生は教え子でもある田代先輩の活動に共鳴、募金・寄付に協力、今回の企画実現となった。田代先輩のように世界で活躍される先輩がいる事を誇りに思う。親善試合にはザンビアの特命全権大使も出席され大統領のメッセージ「皆さんが日本とザンビアの架け橋になる事を信じています」を伝えられた。試合結果は明星24-28ザンビア、小川監督は勝ちだけにこだわらずベンチ入り選手全員を出場させ国際親善を肌で感じさせた。キャプテンの大木は「手足が長い、ジャンプ力もありビックリしました」とザンビア選手の身体能力の強さに驚いていた。試合終了後、全員で握手、「ジコモ」、ザンビア、ニャンジャ語で互いに「ありがとう」と言葉を掛け合った。明星の建学の精神、「世界に信頼される人の育成」今出来る事を精一杯、頑張っている先輩を、ひたむきに世界を目指す選手を近くで見た。私達も、もっともっと大きく、もっともっと強くなりたいと心で思った国際親善試合だった。

★北風の吹く中で

今の時期、外のクラブ活動はつらい。日が沈むと一気に気温が下がる。北風が痛い。練習する選手達は頬を赤くし、風に向かって走る。校舎と体育館の周りは1周650m、陸上部の選手が1分30秒で走る。マネージャーがラップタイムを読み上げる、ストップウォッチを持つ手は素手だ、息を拭きかけ手を温めるがすぐに指先までしびれてしまう。必死に走る選手に声をかけ励ます。頑張る選手はもとより、選手を支えるマネージャーの動きに感動した。タイムを読み上げるとすぐにボトルを取りに走り出す。縁の下の力持ち陸上部のマネージャー、堂山琴音・角倉晴香・熊谷歩、頑張る3人に「良く頑張っているで賞」を贈る！！

地域ボランティア 大国魂神社境内 落葉清掃

毎年、インターアクトクラブ・中学男女バスケットボール部・高校男子バスケットボール部合同で行なわれている大国魂神社境内、落葉清掃。今年は12月14日に計画されたが雨の為に中止となった。1年の加藤は学校に7時半に集合、雨の為に中止と知らされると「残念です。無病息災・必勝祈願と1年のお礼を込めて清掃をしたかった」と笑顔で話すと、隣にいた中学生に「もっと雨が降りと言っていたじゃないですか」と言われ爆笑となった。

野球部 全員合格

12月18日、野球部、体重測定日、1年生は4月の入学時から1ヶ月、1kgアップがノルマ。いつも朝練している選手がいない。「朝ごはんをいっぱい食べていたから遅かったんです」と答えが返る。「今日は体重測定までトイレに行かないぞ」と皆川が叫ぶと笑いがおこった。1年生は4月から8kgアップに成功。祝全員合格！！

